

平成 19 年度当初予算 施策別概要

552 交通網の整備

(主担当部 : 政策部)

55201	生活交通の確保	(政策部)
55202	名古屋圏、大阪圏との輸送力強化	(政策部)
55203	高速交通ネットワークの形成	(政策部)

< 施策の目的 >

(対象) 県民が

(意図) 安全で利便性の高い交通網を利用して円滑に移動している

< 施策の数値目標 >

施策目標 項目 (主指標)	県内の公共交通機関の利用者数	目標値	121,978 千人 (2009 年度)
		現状値	121,978 千人 (2005 年度)

県内の鉄道各駅の乗車人数 (各鉄道事業者調べ) と乗合バスの乗車人数 (三重運輸支局調べ及び政策部交通政策室調べ)。2010 年度の目標値は、2011 年春に把握できる 2009 年度の実績数値により測ることとします。

県の取組 目標項目 (副指標)	県民の公共交通機関満足度	目標値	30.0%
		現状値	23.6%

< 現状と課題 >

- ・交通は、まちづくりをはじめ、地域住民のくらしや地域のあり方に深く関わる重要な社会基盤です。しかし、過度に自動車交通に依存するライフスタイルは、環境問題や交通渋滞、交通事故などの問題だけでなく、鉄道やバスなどの公共交通機関に依存している人たちが移動手段を奪われるなどの問題も引き起こしています。
- ・全国的にも人口減少局面を迎えたことで、今後の地域社会の活性化には国内外との交流がますます重要になってきます。そのためには、高速で移動できる空港、高速道路、高速鉄道などの交通基盤を整備する必要があります。
- ・高速交通と生活交通をつなぐ鉄道やバスなど都市間の輸送力強化にも取り組むことで、生活交通 - 都市間交通 - 高速交通が円滑に利用できるような交通網が確保されていることが必要です。

< 平成19年度の取組方向 >

県内各地の生活交通確保策のための検討組織(地域公共交通会議)の立ち上げを促進し、住民・事業者・行政等が一体となって、地域特性を生かし真に地域ニーズを反映した確保策を検討します。また、国とも協調して、鉄道軌道近代化設備整備費補助金、幹線鉄道等

活性化事業費補助金、生活交通維持費補助金等の活用をはかりながら、鉄道やバス路線の維持・確保に努めます。

関西国際空港や中部国際空港の機能の充実・強化をはかるとともに、都市間の輸送力強化に向けて、鉄道やバスの利便性向上に努めます。

リニア中央新幹線、伊勢湾口道路及び東海南海連絡道について、建設気運の醸成をはかり、早期の実現に向けた活動を展開します。

<主な事業>

(新)(舞)三重県型モビリティ・マネジメント構築事業

【基本事業名：55201 生活交通の確保】

当初予算額： - 千円 12,879千円

事業概要：公共交通機関の利用を促進するため、支援のあり方も含め地域特性を生かした最適な公共交通のあり方を検討するとともに、自動車交通から公共交通機関への転換を進めます。

(一部新)鉄道利便性・安全性確保等対策事業【基本事業名：55201 生活交通の確保】

当初予算額： 193,645千円 197,126千円

事業概要：経営基盤の脆弱な中小鉄道事業者に対し、安全性の向上及びサービス改善がはかれるよう、鉄道施設整備に対して国及び関係市町とともに引き続き支援します。

地方バス路線維持確保事業【基本事業名：55201 生活交通の確保】

当初予算額： 446,431千円 399,210千円

事業概要：生活交通であるバス路線を維持・確保するため引き続き支援します。

鉄道活性化促進事業【基本事業名：55202 名古屋圏・大阪圏との輸送力強化】

当初予算額： 1,598千円 1,349千円

事業概要：鉄道の利便性向上に向けて、引き続き沿線自治体と連携して、鉄道事業者等への働きかけを行うとともに一層の利用促進に努めます。

航空関係費【基本事業名：55203 高速交通ネットワークの形成】

当初予算額： 78,954千円 9,089千円

事業概要：関西国際空港及び中部国際空港について、機能の充実・強化をはかるとともに利用促進に努めます。また、中部国際空港との海上アクセスについて、関係市とともに利用促進に努めます。